



静岡市葵区飯間市有地活用事業 事業計画概要書

代表企業：鈴与カーゴネット株式会社

所在地：静岡県静岡市葵区飯間
(新東名高速道路静岡SAから車で1分)

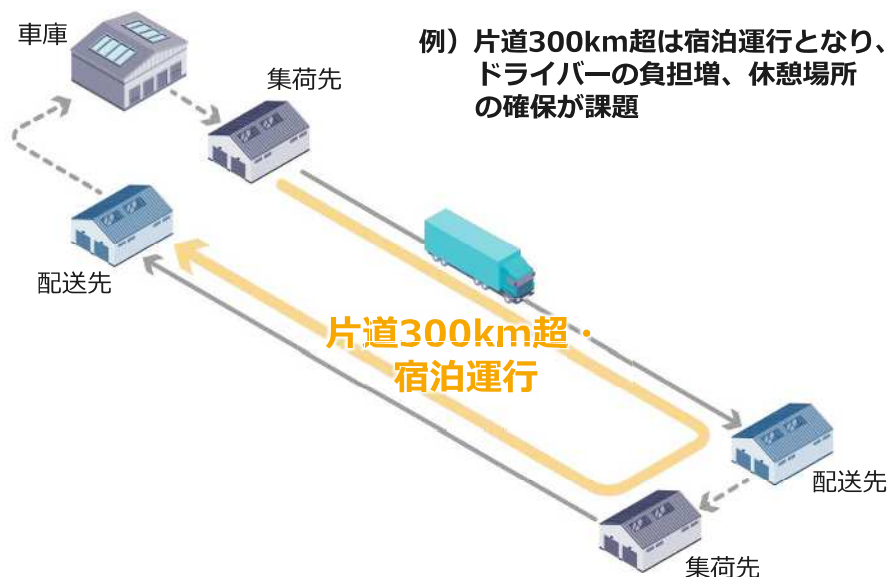
※図は最終完成イメージを表しており、実際の内容とは異なる場合があります

長距離貨物輸送の課題

物流業界では、「2024年問題」を背景に、ドライバー不足や労働時間の上限規制への対応が急務となっています。

トラック運転手の数は2020年から2030年にかけて約20%減少すると予測されており、営業用貨物自動車の需給バランスにおいては供給が需要に対し約35%不足する見込みです。

特に長距離貨物輸送においては輸送供給力の低下が懸念されています。



本事業の目的

国内の長距離輸送では、関東圏と関西圏間の区間が最も輸送量の多いグループに含まれており、静岡県は関東圏と関西圏の中間に位置し、両地域を日帰りで運行できる利便性の高い立地です。

本事業では、**静岡市の利便性の高い土地を活かした中継輸送を展開し**、関東圏や関西圏の物流事業者との協業により、**持続可能な物流体系の構築を目指します。**



02 | コンセプト

地理的優位性を活かした中継輸送の活性化

静岡市に位置する新東名高速道路・静岡スマートインターチェンジ隣接地は、関東・関西の中間地点にあり、物流の大動脈上に位置する極めて戦略的な立地です。この地理的優位性を最大限に活かし、慢性的な乗務員不足や輸送効率の課題に対応するため、トレーラによる中継輸送を軸とした中継型物流拠点を構築します。

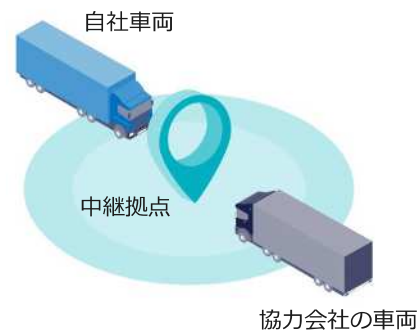


01 働き方改革や人材不足への対応



トレーラによる中継輸送拠点として、乗務員の拘束時間の削減に加え、車両の稼働率向上、CO₂排出量の抑制など、輸送効率と環境負荷の両面での改善につなげます。

02 オープン型プラットフォームの構築



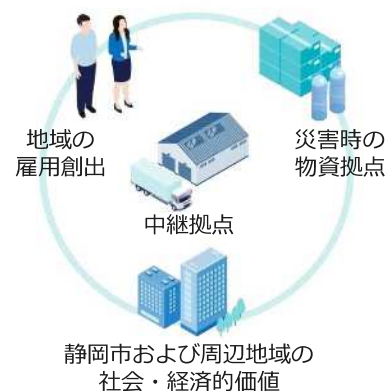
自社車両のみならず、協力会社の車両も利用可能な中継拠点として運用することにより、運送会社間の垣根を超えたコンソーシアムが構築され、さらなる輸送効率の改善につなげます。

03 乗務員の労働環境の改善



乗務員の休憩・待機場所としての機能を担うことで、乗務員の労働環境の改善と安全運行の促進につなげます。
高速道路上のSA・PAの慢性的混雑状態の緩和にも寄与します。

04 物流施設にとどまらない役割



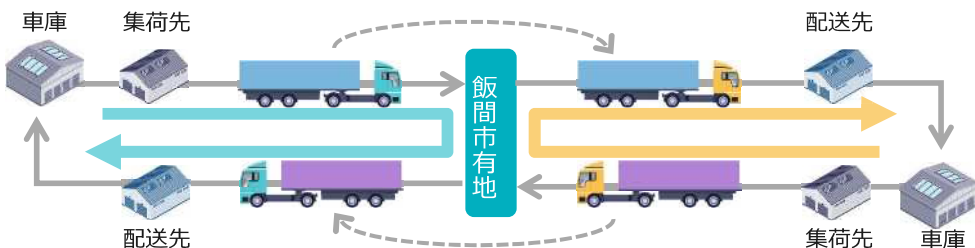
中継拠点は、単なる物流施設にとどまらず、地域の雇用創出や災害時の物資供給拠点としての役割も担い、静岡市および周辺地域の社会・経済的価値の向上につなげます。

04 事業内容と効果

静岡サービスエリア周辺にウィングトレーラー専用の中継輸送施設を設置し、**持続可能な長距離輸送の輸送体制の構築**に寄与します。

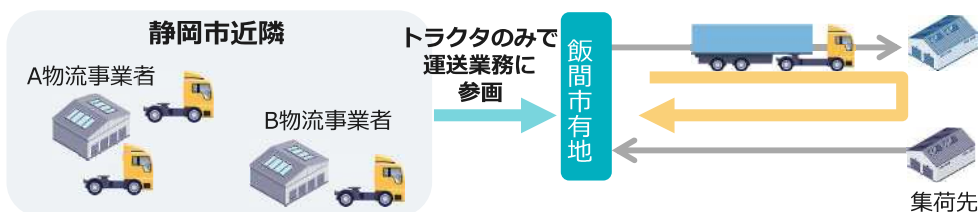
関西圏・関東圏双方に拠点を持つ物流事業者

本事業の中継施設をスイッチポイントとして利用いただけます。



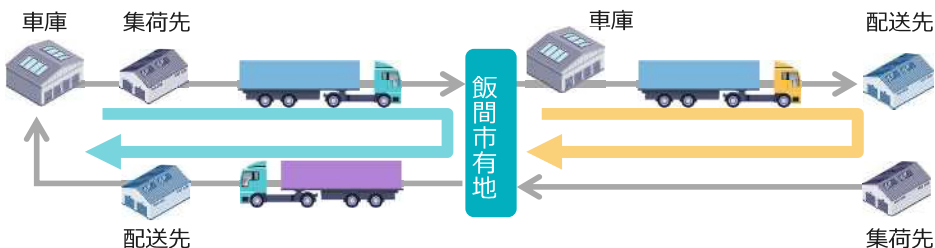
静岡市近隣に拠点を持つ物流事業者

トレーラを保有していなくてもトラクタがあれば、当該地を起点とした運送業務に参画可能です。



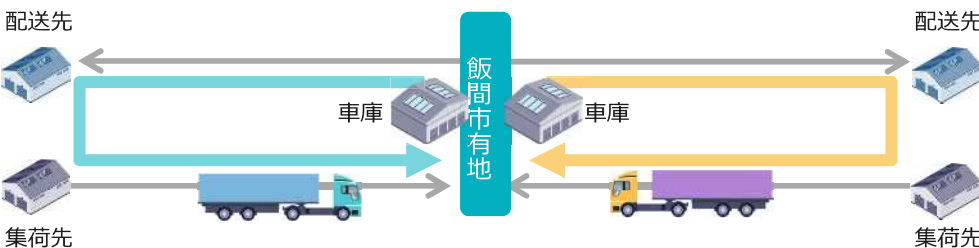
関西圏のみ、もしくは関東圏のみに拠点を持つ物流事業者

中継施設にて貨物をマッチングして、往復運行の提案をします。



自社車両による内回り型の中継輸送

中長距離輸送の安定供給を目指します。



事業効果

静岡SICの活用

本事業のサービス利用による
地域経済への貢献

地域雇用の創出

新たな車庫整備による
40名弱の雇用創出

物流事業者間の交流

物流シェアによるシナジー効果

05 施設計画



06 | スケジュール

2026年初頭の開業を目標に、土地の調査、整備、運営準備などの各工程について適切に管理を行います。
事業の具体的な利用方法については、改めてご案内いたします。

	事業開始前					事業開始後		
	2025年					2026年	2028年	2034年
	8月	9月	10月	11月	12月	1月~2月		
	測量調査	本契約締結	設計	整備				
中継事業			利用案内	利用説明	募集開始	1期～	2期～	3期～(予定)
自社事業					車庫登録 車両移管			